宮 柔 連 発 第 ７ ６ 号
令和元年１１月１３日

関　係　所　属　長
県下各地区柔道会長　　殿
各学校監督・道場指導者

宮 崎 県 柔 道 連 盟
会長　矢野　吉則
［公印省略］

《令和２年》
第３７回宮崎県柔道選手権大会(全日本柔道選手権[宮崎県]予選)の開催について
(通　知)

謹啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素、当連盟の事業につきまして、格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当連盟の最大行事であり、又県内随一の標記大会を、宮崎日日新聞社をはじめ各関係機関団体及び関係者のご協力のもと別紙要項により開催することと致しました。
つきましては、柔道の普及振興及び斯道発展のため大会運営並びに、選考出場選手派遣等、格別のご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。　　敬具

記

１　大会実施内容
別紙　大会要項のとおり。【本年より申込書に写真不要】
２　選手出場要領
大会要項第７　第８の参加資格及び部門別のとおり。
３　大会・競技役員委嘱
後日、役員等依頼文送付予定。
４　その他留意事項
(1)　出場申込み選手は、全柔連登録者であることを事前に確認すること。
(2)　大会出場申込み、大会(参加)登録料の納入先は、各地区事務局とする。
(3)　本連盟は、暴力の根絶はもちろんのこと、礼法や礼節を高め、品格のある柔道を通して　本来の理念である人間育成を目指す「柔道ＭＩＮＤ」活動を推進しているので、周知を図っていくこと。

以上

《２０２０年》第３７回宮崎県柔道選手権大会要項~~（案）~~

（兼 全日本柔道選手権大会県予選会並びに全日本女子柔道選手権大会県予選会）

1　大会趣旨　　本大会は、宮崎県内において選抜された選手による各部門の県選手権を競うとともに併せて一般男子及び一般女子については、全日本柔道（女子）選手権大会に連動する九州（女子）柔道選手権大会県代表選手の選考を行う。

2　主　　催　　宮崎県柔道連盟　　宮崎日日新聞社

3　主　　管　　宮崎地区柔道会

4　後　　援　　宮崎県教育委員会　　公益財団法人宮崎県体育協会　　宮崎市
宮崎県武道協議会　　株式会社宮崎放送　　株式会社テレビ宮崎

5　期　　日　　２０２０年２月９日（日）午前９時３０分 開会　（試合開始１０：００）

6　会　　場　　宮崎県武道館　（宮崎市大字熊野　県総合運動公園内）

7　出場資格　　①１０の部門別に定める選手構成及び各部門選考担当より選考された選手。
②宮崎県内居住者で令和元年度(公財)全日本柔道連盟登録を完了した者。
※全柔連未登録で大会出場した場合には、その選手を失格とする。
③大会要項に定める大会（参加）登録料を納入済みであること。
④一般男子の部及び一般女子の部は日本国籍を有する者とする。

8　部 門 別

(1)　男子部門（体重無差別）

①　小学５年生以下の部　　約３２名以内

②　小学６年生の部　　約３２名以内
県少年学年別柔道大会及び県少年柔道大会等の成績を参考に
県柔道場連盟選考委員で選出。

③　中学１年生の部　　約３２名以内

④　中学２年生の部　　約３２名以内
秋季大会等を参考に中学体育連盟柔道専門部で選出
（委任）＋道場関係３～４名

⑤　高校１年生の部　　約３５名以内

⑥　高校２年生の部　　約３５名以内
県下高校新人大会の団体予選リーグ戦２位以上校は､各学年２名以内。
その他の高校は、各学年１名を選出することが出来る。
また、特例で実績のある実力選手がいる場合は、監督推薦で１名
選出できる。

⑦　一般男子の部（九州柔道選手権大会県予選）
オープン参加とする。県警察、旭化成の選手は、序列をつける。
平成３１年全日本柔道選手権出場者の垣田、郡司、石内、尾原選手（旭化成）の４名は推薦選手とし、本大会の優勝、第二位、２名の選手を加えて計６名が県代表として九州柔道選手権大会【２０２０年３月８日(日)福岡武道館】への出場権を得る。
なお、３位決定戦を行い補欠選手も決定する。

(2)　女子部門（体重無差別）

⑧　小学生の部　　３２名以内

県少年柔道学年別大会及び県少年柔道大会等の成績を参考に県柔道場連盟選考委員で選出。体重制限なし。

⑨　中学生の部　　約３２名以内

秋季大会等を参考に中体連柔道専門部で選出＋道場関係　３～６名

⑩　一般女子の部（九州女子柔道選手権大会県予選）

高校１・２年生は、新人大会成績を参考に高体連柔道専門部で選出

高校３年生及び一般は、オープン参加。

本部門決勝進出者２名が九州女子柔道選手権大会の出場権を得る。

なお、３位決定戦を行い補欠選手も決定する。

(注)選手は平成１９年４月１日以降以降の出生者であって、中学生は九州及び全国大会の個人戦において第３位以上の入賞者に限る。

9　各部門選考担当者

区分	選考担当者
小学生５年以下の部 小学６年生の部 小学生女子の部	県柔道場連盟から選考された委員で 実施し選考する。
中学１年生の部 中学２年生の部 中学生女子の部	県中体連柔道専門部選考委員会委員で 実施し選考する。 一部、県柔道場連盟選考委員を含む。
高校１年生の部 高校２年生の部 一般女子の部	県高体連柔道専門部選考委員会委員で 実施し選考する。 但し、高校３年及び一般はオープン参加。

10　試合方法　　試合は、トーナメント方式によって、各部門の優勝を決定する。

11　審判規定

(1)　試合は国際柔道連盟(IJF)試合審判規定(2018-2020)による。(各部共通)

(2)　小学生の部及び中学生の部は、国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」を合わせて適用する。(平成３０年４月１日施行)

(3)　各部門

①　小学生の部

判定の基準は、一本や反則負けがない場合は「技あり」または「僅差」(指導差が2)とする。スコアが同等の場合や指導差が1の場合はゴールデンスコアは行わず、判定により勝敗を決する。

②　中学生の部及び高校生の部

判定の基準は、一本や反則負けがない場合は「技あり」または「僅差」(指導差が2)とする。スコアが同等の場合や指導差が1の場合はゴールデンスコアにより勝敗を決する。

ゴールデンスコアは、本戦で与えられたスコア及び罰則がそのまま反映され、「技あり」以上及び「指導」の数に差がついた時点で勝敗が決する。

③　一般男子・女子の部

全日本柔道選手権大会申し合わせ事項にて行う。

スコアは「一本」「技あり」「有効」の３種類とし、「技あり」が２つで合わせ技「一本」とする。抑え込みの時間は 20 秒で「一本」、15 秒以上で「技あり」、10 秒以上で「有効」とする。ゴールデンスコアについて、スコア（「一本」「技あり」「有効」）又は「反則負け」（直接的又は「指導」の累積による。）によってのみ勝負が決まる。

※なお、全日本柔道選手権の審判規定により一部変更も有り得ることから、審判申し合わせ事項により詳細は決定するものとする。

(4)　柔道衣

高校生以上は全柔連柔道衣規格（上衣、下穿、帯）を着用すること。

中学生以下は上記規格か全柔連柔道衣規格に準じた大きさの道衣を着用すること。

12　試合時間　　・小、中学生は、３分間。

・高校男子、一般女子の部、一般男子の部は４分間とする。

13　出場方法及び参加料

(1)各部門（小学生～高校生の部各学年別）の各部門選考担当者が、部門別選考上の協議を実施し、選手を選考後、選手決定文書及び所定の出場申込み書を該当者に送付する。

(2)選考担当者は、選考した選手名簿を令和元年１１月１３日（水）迄に、県柔連宛送付すること。（１１月２３日（土）に各地区柔道会へ配布予定のため期日厳守のこと）

(3)出場申込方法（本年より申込書に写真不要）

各地区事務局→県柔道連盟事務局あて送付のこと。

① 小学生～高校生の部

出場申込書及び大会参加料を、各学校や所属団体はそれぞれ一括し、地区柔道会事務局宛に送付する。

② 一般女子の部、一般男子の部出場申込み方法

一般オープン参加者は、出場申込書及び大会参加料を各所属で一括、また個人出場者は直接、地区柔道会事務局宛に送付する。

(4)出場申込み書提出及び大会登録料納入期限（期限厳守）

※各地区柔道会は、出場申込書に、必要な事項の記入漏れはないかを確認して、令和元年１２月１８日（水）まで下記宛て必着のこと。遅れた場合は参加を認めない。

〒880-0805　宮崎市橘通東１丁目５－８　グリーンリッチ宮崎５０１号
宮崎県柔道連盟　事務局　宛　　TEL・FAX(0985-26-7415)

(5)大会参加料

選手は出場申込書と同時に参加料一人１０００円を各地区事務局に納入し、各地区は、一括、提出期限までに納入すること。

※大会参加料納入後に欠場選手への返金はしないものとする。

(6)傷害保険の任意加入

主催者は傷害保険には加入しないので各自、任意の傷害保険に加入して対応すること。

地区事務局
振　込　先

14　組 合 せ　　２０２０年１月１１日（土）県高等学校柔道選手権大会終了後、
　　抽　　選　　宮崎県武道館柔道場役員室にて、選考担当者及び本連盟から指定された選考委員により厳正に行なう。

15　表　　彰　　優勝＝賞状・優勝楯・カップ(ﾒﾀﾞﾙ)　　二位．三位＝賞状・賞品(ﾒﾀﾞﾙ)

16 問合せ先
　連 絡 先

17　そ の 他

(1)　試合場におけるコーチの振る舞い

①コーチの場所

原則として各試合場の正面と反対側、又は試合場の横側にコーチ１名を許可する。

②コーチの言動

試合が止まっている間(「待て」から「始め」の間)のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることは禁止とする。

(2)　脳震盪対応について

ジュニア(20 歳未満)以下の出場選手には下記条項を適用する。

1　大会１ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

2　大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること）

(3)　個人情報及び肖像権の保護について

1　個人情報の観点から、参加申込書に記載された個人情報については、本大会を運営する目的以外には一切使用しないものとする。

2　大会会場等において、係員等が撮影した写真や動画については本人の承諾を得ることなく、宮崎日日新聞社、および宮崎県柔道連盟の紙面・ホームページ等に掲載する場合がある。

以上